dentsu

Dentsu 2017 and Beyond
-Innovation × Reinvention-

2013年5月17日

このプレゼンテーション資料には、2013年5月17日現在の、経営陣の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が
含まれています。経済情勢などに関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

現行中期経営計画
Dentsu Innovation 2013

総括

Dentsu Innovation 2013

プラットフォーム時代への挑戦

デジタル ・ グローバル ・ 構造改革

重点領域におけるスケール・プレゼンス確保に力点

Dentsu Innovation 2013　経営目標の達成度

	2013年度(見込)	当初目標
連結営業利益	651億円	700億円
オペレーティング マージン	17.4%	20%
ROE	5.3%	8%

(注1) 2013年度の見込値は、Aegis買収効果を除外したもの
(注2) 2013年度のROEは、業績・配当予想から2013年度末の自己資本を想定し算出

Dentsu Innovation 2013　これまでの成果

デジタル

- 投資、M&A等による事業基盤整備を通じ、日本と米国を中核にサービスライン拡充およびスケール確保を達成
- 連結売上総利益は2008～2012年度で1.7倍に伸長

グローバル

- 既存拠点強化・M&A等を通じ、2008～2012年度で、連結売上総利益は1.9倍に伸長
- 米国Agency of the Yearを獲得したMB社による有力顧客の獲得などにより、クライアントポートフォリオの多様化・グローバル化が進展
- 2013年3月、Aegis Group買収完了

構造改革

- 日本事業の構造改革も推進、新たな人事制度の導入をはじめとする具体施策を実施
- 2009年度を皮切りに単体の営業費のあり方を抜本的に見直し、以後水準を維持

Dentsu Innovation 2013　計画最終年度の見込

	2008年度（実績）	2013年度（見込）	増分（CAGR）
売上総利益	3,144億円	3,747億円	+602億円（3.6%）
営業利益	431億円	651億円	+219億円（8.6%）
オペレーティングマージン	13.7%	17.4%	+3.6 ポイント
ROE	△4.0%	5.3%	+9.3 ポイント

（注1）2013年度の見込値は、Aegis買収効果を除外したもの
（注2）2013年度のROEは、業績・配当予想から2013年度末の自己資本を想定し算出

Dentsu Innovation 2013　今後の展望・課題

顧客のニーズと期待にグローバルレベルで
応える上で必要となる事業基盤の整備は概ね完了

積極投資をはじめとした基盤整備フェーズから、
既存リソースが生み出す収益最大化を図るフェーズへ

顧客のニーズ・事業環境の変化に柔軟に対応すべく、
機動的なリソースアロケーションを実現

構造改革への取組みも継続し、
グループ全体の経営効率向上・収益性拡大を図る